

2022年度の事業報告書
2022年12月21日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 多様な学びプロジェクト

1 事業の成果

とまり木ポータルサイトの登録のとまり木は467か所(2023年3月9日時点)に増え、オンライン講座は任意団体から数えると2022年度1年間で延べ1616人が参加、オンラインサロンも301人(2023年3月)に増え、「多様な学び」への理解を広げ、不登校の偏見を減らす、社会を変える潜在的なインパクトを有するようになりました。

こうした潜在的な影響力を背景として、とまり木オンラインサロンの1人の保護者の声から生まれた2022年4月にリリースした「学校依頼文フォーマット」は様々な媒体で取り上げられ、不登校保護者の学校とのやりとりに関する「困った!」を解決したのみならず、自治体教育委員会でフォーマットが作成されるなど、制度化の成果もあげてきました。サロン内自主企画もより活発化し、数が増え、学びから力を得て支援者へと成長するコミュニティになっています。

子ども向けオンライン事業や街のとまり木活用事業など、子ども達や保護者への直接支援も引き続き行い、小規模ながら安心できる居場所運営が行えています。

こちらも任意団体からの継続ですが、とまり木ポータルサイトの情報がより困っている層に届けやすくなるよう、「かわさき地域マップ」の作成配布とインパクト評価、全国の地域ネットワークの交流会の立ち上げなどもおこなってきました。

NPO法人化した2023年1月からはパナソニックの助成金を得て基盤強化診断に取り組み始めました。

2022年度も、J-WAVEラジオ、VOGUEジャパン・サイトなど様々なメディアに活動を紹介され、理解者も広がっています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時	(B)当該事業の実施場所	(C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲	(E)人数
事業名(定款に記載した事業) ① 地域の居場所づくり事業 ア とまり木ポータルサイトサイト 事業費の金額【 68 】千円						
とまり木ポータルサイト	「地域の居場所」がより検索しやすくなるホームページの新設、運営	通年	オンライン	4人	・不登校家庭 ・不登校支援者	PV数:年間合計163,517件 / 月間平均13,626件(2022年4月~2023年3月)
事業名(定款に記載した事業) ② ワークショップの運営・開催事業						

ア 全国オンライン研修講座とオンライン保護者と支援者ピアカウンセリング(以下「とまり木オンラインサロン」)事業
事業費の金額【 982 】千円

とまり木オンラインサロン運営	専門講師による、子どもへの対応の仕方、居場所運営のノウハウ、不登校家庭の取り組み、行政連携の手法、ファンドレイズの仕方などの知識の注入と、保護者や支援団体同士(横のつながり)の「知恵の交換」を行う。	通年	オンライン	3人	・学校外で学ぶ子(不登校・ホームスクーラー)の保護者 ・フリースクールスタッフや不登校親の会の運営者	301人(2023年3月時点)
オンライン講座(一般向け)	「専門講師による知識の注入」部分を担当	月1回。年間12回。	オンライン	7人	・学校外で学ぶこの保護者 ・学校外の学びの場や親の会の運営者	延べ625人
オンライン講座(支援者向け)	上記のより支援者向けに特化した内容	年間10回程度。	オンライン	7人	・学校外の学びの場や親の会の運営者	延べ45人
保護者サロン	とまり木オンラインサロン内の保護者専用サロン/保護者のためのおしゃべり会開催/サロン内で今週の話題投稿	おしゃべり会:毎月2回。年間24回。サロン投稿「今週の話題」:毎週1回。年間約50回	オンライン	3人	・学校外で学ぶ子どもの保護者	延べ95人
支援者サロン運営	とまり木オンラインサロン内の支援者専用サロン/毎月1回平日夜に交流会「スナックミチシルベ」開催	月1回。年間12回。	オンライン	3人	・学校外の学びの場や親の会の運営者	延べ24人

自主企画	「手芸部」 「しゃべり TIMEとことこ」 「シングルマ マ・パパ オン ラインおしゃべ り会」 「ぼちぼち・ち ちの会」 「フリースクー ル／オルタナ ティブスクー ルスタッフ交 流会」 「8分読書会」 「zoom読書 会」 「みんなの アート展」 「高校進学に ついてのお しゃべり会」	9企画・月 1回また は不定期 開催	オンラ イン	10人	・学校外で学ぶ子 の保護者 ・学校外の学びの 場や親の会の運 営者	延べ152人
事業名 (定款に記載した事業) イ「子ども向けオンライン講座やワークショップ」 事業費の金額【 88 】千円						
フリーバー ドキッズ	チャットツール slackを利用し て家庭で取り 組んでいる活 動を写真や動 画、文章で投 稿して交流す る			6人	・学校外で学ぶ子 どもとその保護者	会員数 15 家庭 述べ 20人(zoomの会に 参加した数)
こども哲学 カフェ	テレビ会議シ ステムzoomを 利用して双方 向型の、非認 知能力を育く むオンライン 授業を行う。 哲学対話を通 して多様性へ の寛容さや自 己表現、相互 理解などを学 ぶ。	月1回。 年間12 回。		2人	・学校外で学ぶ子 ども	延べ10人

